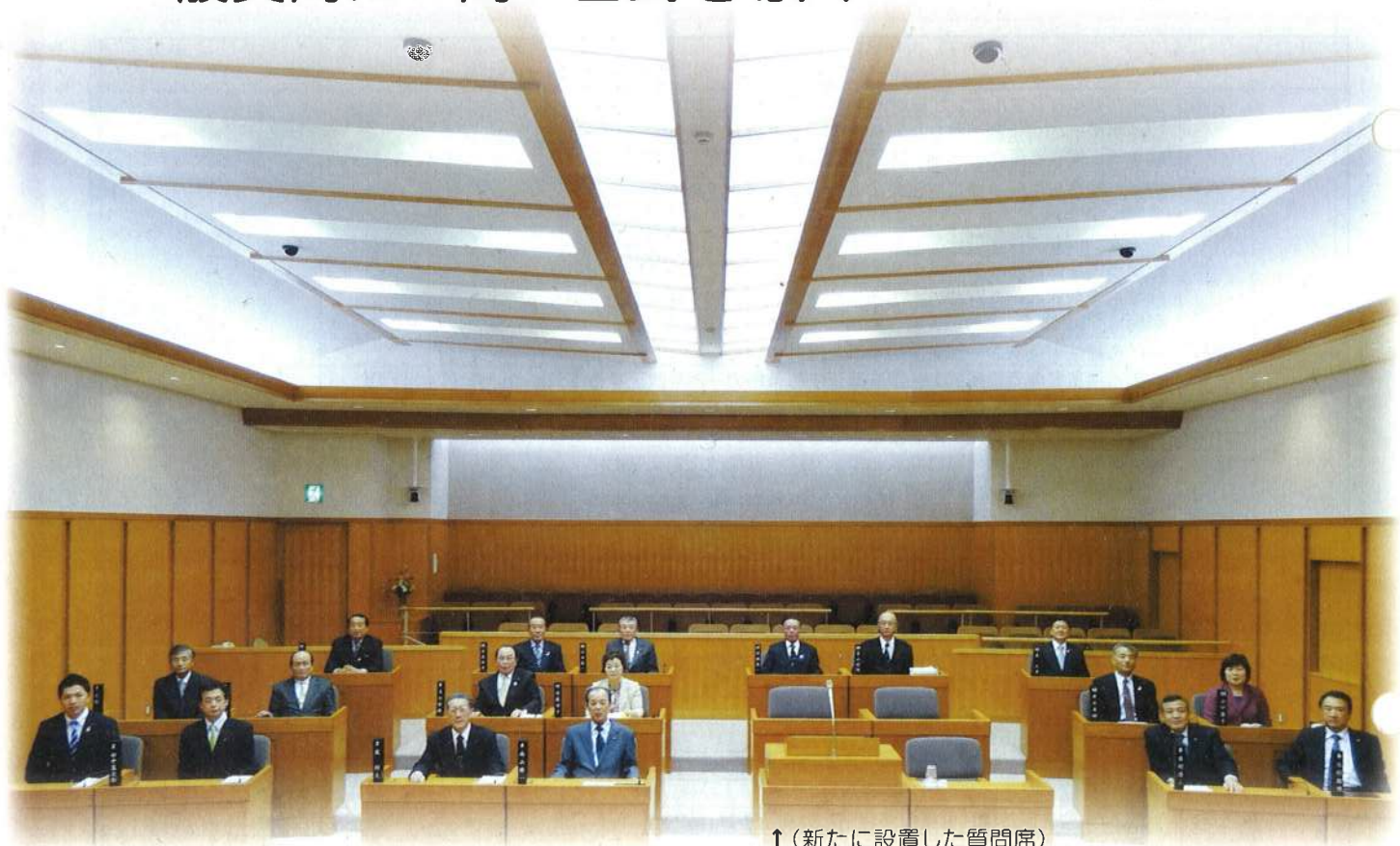


のみだより

2013
3月議会
定例会
第36号

- 平成25年度当初予算を可決
- 一般質問に一問一答式を導入



↑ (新たに設置した質問席)

▲平成25年3月定例会を終えて
(能美市議会議場で撮影)

◎ 定例会報告	2
◎ 代表質問	4
◎ 一般質問	5
◎ 委員会報告	11
◎ 討論	13
◎ 視察報告	14
◎ 議会活性化の取り組み	15
◎ 議会日誌(1月～3月)	16

発行日：平成25年5月1日
発行：能美市議会
編集：広報特別委員会

〒923-1297 能美市役所議会事務局
石川県能美市来丸町1110番地



TEL：(0761) 58-2240
FAX：(0761) 58-2295
E-mail：gikai@city.nomi.lg.jp
<http://www.city.nomi.ishikawa.jp>

議会議案7件を含む議案37件を可決

歳入歳出それぞれ220億8千万円とする平成25年度能美市一般会計予算をはじめ、新たな条例の制定や既存の条例の一部改正などを可決した。平成24年度補正予算については、歳入歳出それぞれ7億9千7百万円を追加し、歳入歳出それぞれ236億2千8百万円とする平成24年度能美市一般会計補正予算（第5号）をはじめとする平成24年度特別会計補正予算などを可決した。

初日である6日には『北朝鮮による核実験に断固抗議する決議』、27日の最終日には『微小粒子状物質(PM2.5)に係る総合的な対策の推進を求める意見書』などを提出し、日本国民の安全安心な暮らしを脅かす近隣諸国からの脅威に対し、議会として断固たる意思を表明した。

審査結果一覧

	議案名	採決結果	付託委員会	委員会採決結果
議案 (30件)	2号 能美市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について	◎	教	◎
	3号 能美市常勤の特別職の職員の給与に関する条例及び能美市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例について	◎	総	◎
	4号 能美市障害程度区分認定審査会の委員の定数等を定める条例等の一部を改正する条例について	◎	教	◎
	5号 能美市立保育園条例の一部を改正する条例について	◎	教	◎
	6号 能美市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	◎	教	◎
	7号 能美市手数料条例及び能美市の適正な土地利用に関する条例の一部を改正する条例について	◎	産	◎
	8号 能美市営住宅条例の一部を改正する条例について	◎	産	◎
	9号 能美市産業振興奨励条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例について	◎	産	◎
	10号 能美市公営企業等の設置等に関する条例等の一部を改正する条例について	◎	産	◎
	11号 能美市体育施設条例の一部を改正する条例について	◎	教	◎
	12号 能美市病院事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例について	◎	教	◎
	13号 市道路線の認定、廃止及び変更について	◎	産	◎
	14号 平成25年度能美市一般会計予算	◎	総・産・教	◎・◎・◎
	15号 平成25年度能美市国民健康保険特別会計予算	◎	教	◎
	16号 平成25年度能美市後期高齢者医療特別会計予算	◎	教	◎
	17号 平成25年度能美市介護保険特別会計予算	◎	教	◎
	18号 平成25年度能美市温泉事業特別会計予算	◎	産	◎
	19号 平成25年度能美市農業集落排水事業特別会計予算	◎	産	◎
	20号 平成25年度能美市水道事業会計予算	◎	産	◎
	21号 平成25年度能美市工業用水道事業会計予算	◎	産	◎
	22号 平成25年度能美市公共下水道事業会計予算	◎	産	◎
	23号 平成25年度国民健康保険能美市立病院事業会計予算	◎	教	◎
	24号 平成24年度能美市一般会計補正予算(第5号)	◎	総・産・教	◎・◎・◎
	25号 平成24年度能美市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	◎	教	◎
	26号 平成24年度能美市介護保険特別会計補正予算(第2号)	◎	教	◎
	27号 平成24年度能美市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	◎	産	◎
	28号 平成24年度国民健康保険能美市立病院事業会計補正予算(第3号)	◎	教	◎
	29号 能美市教育委員会委員の任命について		◎同意	
	30号 能美市監査委員の選任について		◎同意	
	31号 能美市公平委員会委員の選任について		◎同意	
報告(1件)	1号 議会の委任による専決処分の報告について(損害賠償の額の決定及び和解について)		報告のみ	
議会議案 (7件)	1号 北朝鮮による核実験に断固抗議する決議	◎	付託委員会なし	
	2号 道徳教育の充実といじめ・体罰の根絶を求める意見書	◎	付託委員会なし	
	3号 微小粒子状物質(PM2.5)に係る総合的な対策の推進を求める意見書	◎	付託委員会なし	
	4号 ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の診断・治療の推進を求める意見書	◎	付託委員会なし	
	5号 中小企業の再生・活性化策の充実・強化を求める意見書	◎	付託委員会なし	
	6号 行政改革特別委員会の廃止に関する決議	○	付託委員会なし	
	7号 能美インターチェンジ特別委員会の設置に関する決議	◎	付託委員会なし	
請願 (3件)	1号 TPP交渉に参加しないことを求める意見書提出に関する請願	×(不採択)	産	×(不採択)
	2号 生活保護費を大幅削減することの撤回を求める請願	×(不採択)	教	×(不採択)
	3号 年金2.5%削減中止を求める請願	×(不採択)	教	×(不採択)
諮問	1号 人権擁護委員の推薦について		◎答申	

※ 採決結果(◎：全会一致で可決されたもの、○：賛成多数で可決されたもの、×：賛成少数で否決されたもの)

※ 付託委員会(総：総務常任委員会、産：産業経済常任委員会、教：教育福祉常任委員会)



森 喜朗氏 名誉市民に

2月15日に第1回臨時会が開催され、『能美市名誉市民の推挙について』を原案のとおり同意し、元内閣総理大臣の森喜朗氏が能美市初の名誉市民に決定された。

森氏は、昭和44年に衆議院議員に初当選されて以来、永年にわたって国政に参画され、国家国民のため、またふるさと能美市のために尽力された。

4月13日には、能美市名誉市民顕彰式が大成町の総合文化会館で行われ、森喜朗氏に名誉市民の称号が贈られた。



組織が一部変わりました

平成25年3月27日時点における委員会の構成は下記のとおりです。

氏名の横に「新」の記載がある委員は、2月3日の能美市議会議員補欠選挙での当選により新たに議員となりました。

■委員会組織 長は委員長、副は副委員長、○は委員

	議 会 運 営 委 員 会	総 務 常 任 委 員 会	産 業 経 済 常 任 委 員 会	教 育 福 祉 常 任 委 員 会	広 報 特 別 委 員 会	地 域 活 性 化 特 別 委 員 会	環 境 対 策 特 別 委 員 会	議 会 活 性 化 特 別 委 員 会	基 地 対 策 特 別 委 員 会	能 美 イ ン ター チ エ ン ジ 特 別 委 員 会
橋本 崇史 (新)		○			○	○				
田中策次郎 (新)				○	○		○			
嵐 昭夫	○	長					○			
南山 修一	副	副			長		副			
居村 清二 (新)			○						○	○
北村 國博			副		○		長	副		
北野 哲	○		長		副			○		副
倉元 正順			○			副				
米田 敏勝	○			長			○		副	
東 正幸	議長のため、常任委員会及び特別委員会には所属していません									
近藤 啓子				○				○		○
井出 善昭	○			○		長		○	○	
山口 慧子			○			○				
荒田 正信	長			○						○
金森 修栄		○			○	○		長	長	
杉田 隆一	○	○								長
明福 恵一			○							○
青山 利明				副	○	○		○	○	

※行政改革特別委員会は設置目的を果たしたため、3月27日に廃止されました。

また、新たに能美インターチェンジ特別委員会が設置されました。

自由倶楽部

杉田 隆一 議員



酒井市政3期目にあたり、今後の事業展開を問う

Q 酒井市政2期を省み、その所見を問う

4年前、酒井市長は2期目の選挙公約として教育、文化の振興充実、医療、地域福祉の充実、都市基盤の整備、活力ある地域づくりなどを掲げ、様々な施策に取り組んだが、2期を振り返りどのような総括しているか。

A 旧3町の市民の融和と一体性の確立を心がけた（市長）

第一次能美市総合計画に基づき、新市にふさわしいまちづくりのために子育て支援の充実や企業誘致など、各種施策を展開したことが、合併以来の能美市の人口増の背景にあると考えている。

また、市民の皆さまのご理解とご協力のもと、平成24年5月から統合庁舎が発足し、能美市民の一体性がさらに進んだ。

Q 観光ビジョンの目標に向かっての行動計画を問う

平成25年度は、能美市が掲げた観光元年から3年目の年となる。今後の事業展開では、地域資源を生かし来訪者も市民も感動する魅力溢れる取り組みが重要である。その実現に向かって、アートを軸としたアクシオンプランが立案されているが、具体的な内容と行動計画を問う。

A 個性化を図り観光誘客に努めたい（市長）

アクシオンプランは、今後の能美市の観光の方向性や基本目標を定めた『観光ビジョン』を具現化するための行動計画である。ウルトラアートをキャッチフレーズに個性化、差別化を図り観光誘客をするもので、基本目標に独自イベントの開催やご当地グルメの開発、2次交通の充実、九谷焼や特産品のブランド化などがある。



▲市役所本庁舎

能政会

倉元 正順 議員



合併効果をより確かなものにするため、重要施策の早期実現を図れ

Q 市長3期目に掲げた公約の取り組みはどうか

経済のグローバル化、人口減少、高齢化に対応した公約に取り組む決意はどうか。

A 変化する社会の実情を勘案した施策を展開していく（市長）

選挙における施策の方針として、深刻な状況にある九谷焼業界の再考と活性化策が急務である。また、保育園・児童館の統廃合計画の推進、安心・安全なまちづくりを目指すための社会資本の整備、合併効果の仕上げという課題に向かって、選択と集中で効率的な財政運営を行う。

Q 重要施策である3つの事業の推進を図れ

能美市の重要施策である「能美

市横断道路」「防災センター」「能美インターチェンジ」の早期実現を目指せ。

A 重要な事業であり、住民の協力のもと鋭意事業遂行に努力する（市長）

新市の一体化を高める横断道路は、津波被害からの緊急避難道路でもあり、重要な道路事業である。鋭意整備を進め、未着手区間の早期着手に努力する。防災センターは、複雑化する甚大な災害に迅速に対応できる施設として、また、減災としての防災教育の拠点となる施設を考えている。能美インターチェンジは、国に認可を働きかけ、実現に向けて最大限の努力を地域と共に行う。



▲整備中の能美市横断道路(湯谷町地内)

能政会

米田 敏勝 議員



根上翠ヶ丘運動公園をまちの賑わい創出拠点に

Q 根上翠ヶ丘運動公園の再整備計画を問う

翠ヶ丘運動公園は野外運動公園としてキャンプ場や海水浴場とあわせ、まちの賑わい創出の貴重な活力の拠点として期待されている。これらの公園を施設の統廃合見直し案も含め、将来に向かってどう構築し、再整備するのが。

A テニスコートはフットサル練習場に整備を検討
(教育長)

この公園は総合レジャー施設として一体的に整備された施設であり、時代の変遷に伴いテニスコートは現在の仕様にそぐわなくなっている。また、ローラースケート場の利用客も少ないため、これら2施設を廃止しテニスコートは時代の要望の高いフットサル練習場への整備を検討したい。

Q 根上海岸5.8kmの活性化策を問う

荒廃してきている根上海岸5.8kmを地域のまちの賑わいと共に市民に親しまれ喜ばれる海岸としてどう再生、蘇らせることができるのか、海岸近くまでの車の乗り入れやゴミの不法投棄問題も含めた活性化策を問う。

A 能美インターチェンジ周辺と結びつけ健康づくりの場として整備(市長)

根上海岸の活性化については、はまなす群落地など既存の公園施設に加え、能美インターチェンジ周辺整備と結び付け、地域住民に親しんでもらえる健康づくりの場として整備活用して行きたい。また、海岸近くへの車の乗り入れについては、今後ゴミの不法投棄問題も含め検討して行きたい。



▲根上翠ヶ丘運動公園

能政会

荒田 正信 議員



タンク落下はどこか。防衛局との間で安全飛行協定締結を

Q なぜ能美市上空へコースを変更したのか

昭和50年に離着陸コースが変更され中島方式が採用された。内容は、離陸後直ちに高度を獲得して海側に離脱する。着陸は進入コースを高く設定し360度旋回して滑走路に進入する。この離着陸のコースでは全て能美市内の山口町、道林町、根上町、高坂町の上空飛行となり、一昨年のF15燃料タンク落下地点と重なる。

この地域にはラグビー場やキャンプ場等があり、市の中心的な学習ゾーンで、多くの子ども達が集まる施設と化学産業が集積する市の中心的工業ゾーンである。

その中を北陸自動車道が横切り、少しのコースのズレで大惨事の可能性があります。能美市民の安全、安心の生活環境保全と航空自衛隊小松基地の国防任務が果たせるよう、

能美市と防衛局との間で安全飛行協定締結を求める。

A 能美市民の安全安心の確保のため飛行協定締結の努力(市長)

防衛局と協定は結んでいないが、能美市に対し最善の努力をしてもらっている。小松基地の離着陸に一番接近している場所は能美市の南部地区であり、特殊な事情というものを十分防衛省あるいは基地に理解してもらい、基地こそ存在していないが、同等の対応を求め協定もしくは覚書の作成に努力したい。小松基地は日本海側最大の国防第一線であり、第6航空団の果たす使命は大変に大きく、協力していきたい。



▲安全飛行協定の締結で市民の安全と安心を
(写真:小松航空クラブ撮影)

志政会

北村 國博 議員



必要な公共事業は迅速果敢に拡大し、地域経済の活性化を取り戻せ

Q アベノミクスへの評価と期待感の所見を問う

大胆な金融緩和、機動的な財政出動、民間投資を喚起する成長戦略を3本の矢とするアベノミクスへの評価と期待感を問う。

A 景気上昇気分にあるが（市長）

日銀の政策が変更され、円安・株高へと景気の上昇気分が増しており、当面の評価は是とすべくものであるが、実経済に結びつくかどうか少し不安を感じている。

Q 安倍内閣の予算を背景とした公共事業拡大への考えは

安倍内閣は「強い経済・国土強靱化」を目指した大型公共事業へ重点投資している。疲弊した地域経済を活性化するために必要な公共事業は迅速果敢に拡大実施せよ。

A 切れ目のない事業発注、手続の前倒しを実施（市長）

本市は総合計画・合併効果の総仕上げの時期。国の方針を踏まえて事業を早期に発注し事務手続きの前倒しを実施する。必要な公共事業は迅速果敢に実施拡大し、地域経済対策をとりたいたい。

Q 辰口中学校の講堂（体育館）建設を急げ

前民主党政権下で予算が縮減され建設計画が延期された経緯がある。学校教育法上、支障がないとは言えず、地域住民の十分な緊急避難場所確保の点からも建設に向けて事業を前倒しすべきである。

A 現段階での前倒しは難しい（教育長）

小中学校の地域間格差を是正するため教育環境の改善を必要とする事業を多く抱えており、平成26年度からの設計になる予定である。



▲講堂建設予定地

勉誠

南山 修一 議員



タイムリーな顕彰が市勢進展の高揚に繋がる

Q 観光交流人口拡大と各種助成制度の創設を

2015年北陸新幹線金沢開業まであと僅か。そのため、地域資源を活かした観光商品パッケージ化、人材育成及び活動拠点の構築化と、同時にリピーターや新規来訪者の増加に繋がるような衝撃的なインセンティブ施策の展開が急務ではなからうか。

A 共通割引券等に関係団体と検討（市長）

早期に観光商品を立ち上げられるようモニターツアーなどを開催し、参加されたお客様にアンケート調査を実施し、そのツアーのブラッシュアップを図って商品化に繋げたい。レンタカー利用助成施設共通割引券、共通パスポートを関係団体などと検討したい。

Q タイムリーに顕彰を

元メジャーリーガー松井秀喜さんは、名誉市民条例、市民栄誉賞条例の対象者に該当すると思うが、バレー界若手ホープの山本雅也さん、物理学界の浅井祥仁東大教授、競歩の鈴木雄介さんに対してタイムリーに表彰することこそが、本人は勿論、後に続く子ども達の成長にも好影響を与え、また、市勢進展の高揚にも繋がるのではないか。

A 現行の顕彰制度を慎重に検討（市長）

松井秀喜さんは現行の顕彰制度に該当するとの思いがあり、時期を探りたい。学術研究の功績は現行の顕彰制度が適切か慎重に検討したい。既存基金の活用による給付型奨励金制度の創設は、これからの若者に何らかの支援策がないか検討したい。



▲金沢駅

自由倶楽部

金森 修栄 議員



JR寺井駅名の改称を

Q 北陸新幹線金沢開業に合わせ駅名の改称を

整備事業と新幹線開業はJR寺井駅名を改称する絶好の機会と思うがどうか。

A 整備事業は新幹線開業と同時期に完成するよう整備を進めている（市長）

協議会は当初、整備事業を優先し、橋上駅、自由通路の整備の時期に合わせ、新市の一体性が促進された時点で、再度、駅名改称について協議検討すると答申している。

JR西日本との協議では、平成27年3月の新幹線開業に合わせる事が駅名改称の最適のタイミングであり、経費も大きく節減できるとのことである。

新駅名については、駅名改称の選定委員会設置の有無を含め、協

議会で市民の皆さまの理解を得られるよう、協議検討してもらいたい。

Q 新幹線開業に合わせて駅名を改称するための期限は

新幹線開業に合わせて駅名を改称するには、新駅名の決定期限はいつまでか。また、それらに必要な経費、能美市の負担額は。

A 平成25年中に決定する必要がある（産業建設部長）

JR西日本に駅名改称の意思表示と申し入れの後、遅くとも平成25年12月中に新しい駅名を決定し、平成26年4月には駅名改称の要望書を提出する必要がある。また、必要経費については、このような駅名改称の事例がないため、費用などの調査、経費の負担割合のはっきりとした見込みは現時点では未定である。



▲整備中のJR寺井駅

能政会

北野 哲 議員



防災対策は万全か

Q 自然災害や事故に対し迅速な対応を求める

津波や洪水時に迅速な情報伝達と確実な避難対応をとらなければならぬ。そのために避難訓練をしっかりと取り組むべきである。

戦闘機事故後に小松基地司令に提出した安全、騒音、周辺地域対策としての要望書に対し、回答は来たのか。

A 避難訓練や情報伝達を一層進める（総務部長）

自主防災組織を主体とし住民の避難訓練を進め、防災行政無線、広報車、ホームページなどにより情報伝達を發する。小松基地より要望書の回答を受け、真摯に検討するとの内容であった。

Q 微小粒子状物質PM2.5の観測状況は

中国からの大気汚染物質PM2.5の測定結果を市民へ迅速に伝達できるのか。

A 緊急情報として報道発表もある（市民生活部長）

午前5時から7時までの3回の測定値から基準値を超えるとホームページやテレビ、ラジオで発信される。

Q 児童の安全対策は万全か

いじめ、体罰、不審者などにより全国で児童の生命が脅かされている。市の対応は万全か。

A マニュアルを作り、万全をなしている（教育長）

不審者、避難対応などマニュアルに沿って訓練し、安全指導を行っている。



▲能美市津波ハザードマップ

能政会

居村 清二 議員



川北大橋無料化に伴う各種活性化策を図れ

Q 川北大橋無料化に伴う観光地への受入れ体制を問う

加賀産業開発道路沿線に動物や九谷焼など、能美市独特の絵柄が入った案内看板を設置してはどうか。また辰口丘陵公園前交差点は小松方面からの進入時、見通しが悪く危険で事前に信号予告灯が必要である。三ツ口町東側県道交差点も一旦停止の優先を錯覚しやすく、信号機の設置が必要である。

A おもてなしの心が感じられる案内標識等を検討
(市民生活部長)

能美市をイメージできるようなPRロゴ等を用いて案内看板のデザインを統一したい。丘陵公園前交差点は実情を調査した上で必要なことを順次実施し、三ツ口町の交差点への信号機設置は引き続き寺井署へ要望していく。

Q 川北大橋無料化に伴う東部地区丘陵地の活性化を図る

J AIRST 周辺の長期遊休地へのリフレッシュ施設推進と、宮竹校下の人口増加策を図れ。

A 東部地区の活性化へ精一杯対応したい(市長)

施設建設に懸命な努力をしたい。

Q 競技力向上に繋がるスポーツ施設等の整備充実を図れ

スポーツ施設としても活用できるように、辰口中学校講堂の早期建設を求める。また寺井体育館には更衣室がなく、大会等でのおもてなしのために設置を求める。

A 辰口中学校講堂は平成26年度に基本設計にかかれるよう努力したい(教育長)

更衣室は施設の利便性を含め可能かどうか検討していきたい。



▲無料化が実現した川北大橋

絆

田中 策次郎 議員



防災・減災対策と自主防災組織や防災士への育成支援を

Q 行政と町会の連携した防災訓練と地域防災力の支援を

町会は災害時の対応に課題を抱えている。行政と町会が連携した防災訓練を実施し、町会が取り組みやすい訓練の提案と災害時に頼れる人材となる防災士の支援を求める。

A 図上訓練や自主防災組織マニユアル作成が必要
(総務部長)

図上訓練や広範囲の訓練も必要と考える。関係団体と相談し訓練実施の運用マニユアル作成が必要。地域防災力向上につながるよう防災士支援を行なう。

Q 九谷焼産地を能美市の観光資源として発信を

能美市には様々な九谷焼の施設や業者があり、有力な観光資源。

九谷焼関連情報を集約し、市のホームページから提供できないか。能美市観光として提案し辰口温泉や周辺のにぎわいにつなげよ。

A 戦略的に市のホームページで紹介していく(市民生活部長)

特定の作家・作品等は著作権の問題もあり難しいが、組合のアドレスをリンクさせPRに努める。

Q まちづくり推進にボランティア団体との連携を

これまで長い間活動を行っているボランティア団体にも目を向け新しい団体支援と地域を支える団体との連携が必要。

A これまで以上に連携強化を行なう(市民生活部長)

行政とボランティア団体・町会等と事業や情報の連携を図る。



▲(仮)能美市防災センター全体図(鳥瞰図)



青山利明 議員



**観光大使の創設を検討
森喜朗氏、松井秀喜氏の
任命を想定**

Q 能美電への想いや復活につ
いて全国にアイデア募集を
提案

九州新幹線活用事業について会
派で視察した。久留米市は真剣に
取り組み効果を上げた。観光特別
大使制度を創設せよ。ゆるきやら
ラッピングバスなどの話題づくり
で石川県、金沢市との連携を。J
R寺井駅などWi-Fiスポットの拡
充。レンタカー助成とレンタサイ
クルでエコツアーを企画せよ。

A レンタカー助成や観光施設
入場料割引を検討（市長）

ご当地グルメキャラクター「の
みまるくん」、ウルトラマン関連の
絵柄のバスをのみバスや金沢一寺
井間の民間バスで試行できないか
検討したい。

EV車充電スポットは能美市来
訪者のために設置したい。九谷茶

碗まつり会場などでWi-Fiを拡充
したい。

Q 子ども医療費窓口無料化の
今度の取り組みを問う

市長選挙公約の子ども医療費の
無料化はどういう意味か。任意の
予防接種助成は4月から生活保護
世帯は無料となったが生活弱者に
拡大せよ。子ども医療費支給申請
書と申請用封筒（切手不要）を医療
機関に設置し市民の利便性を図れ。

A 県下の首長と連携し、窓口
無料化実現へ努力（市長）

大前提として市内医師会のご協
力を得る努力をしたい。それまで
は市民のサービス向上のため郵便
申請を検討したい。任意の予防接
種の生活弱者の人への助成につい
ては対象や内容を検討したい。



▲視察した九州新幹線（福岡県久留米駅）

嵐 昭夫 議員



地方交付税は合併11年目以
降段階的に減額。将来を見
据えた財政構造の確立を

Q 連結ベースで将来世代の負
担割合が高く、対策が必要

平成23年度能美市貸借対照を見
ると、将来世代が返済していかな
ければならない債務が、普通会計
ベースに比べて、負担割合が10%
以上高い。何が原因か対策を。

A 経費削減、料金体制や経営
体制の見直しを検討する
（市長）

水道事業会計の累積欠損は徐々
に解消。公共下水道事業会計は、
一般会計からの基準外繰出しのほ
か、基金を取り崩しての経営、現
状では基金も枯渇し、累積欠損も
今後増えると推計、公営企業の
健全な経営のため、経費削減に努
める。一般会計では市債の繰上げ
償還を行い、必要な事業の優先的
順位をさらに絞り、場合によって
は事業を控えることも検討する。

Q ペプシノゲン検査とピロリ
菌血液検査、39歳だけでな
く40歳以上の5歳刻みに

胃がん予防と早期発見を目指し
た血液検査、新規事業が始まる。
大変効果があると思われる。40歳
以上の5歳刻み、65歳までを対象
にすべきである。

A 対象年齢など、効率的胃が
ん健診のシステムとし構築
を検討（健康福祉部長）

ABC分類検査は、胃がんの発
症原因、ピロリ菌の感染の有無、
発症リスクを判定する。今年度の
結果を、市医師会などで評価検討
を行い、対象等検証し広げたい。



▲透明性の高い財務情報を提供

日本共産党

近藤 啓子 議員



滞納処分の特化する滞納整理機構への参加はやめよ

Q 納税者の人権は守られるか

滞納整理機構は、「差し押さえの圧力的なアナウンス効果で徴収率を上げている」とされているが、異常なことである。

納税は、納税者と行政との信頼関係の上に成り立つものである。

悪質な滞納者、滞納処理が困難な人を対象とするというが、機構では相手の顔も見えず、暮らしか命を脅かす強引な取り立てが行われるのではないか。

A 人権や生存権を侵害することとは絶対ない（総務部長）

納税困難な方には、納税相談に応じ、徴収猶予も行う。

滞納整理機構では、納税約束を履行しない人、再三の催告に応じない不誠実な滞納者など徴収困難な案件を対象とする。

機構は、税負担の公平性と財源の確保のために、有効かつ必要な組織と判断して参加する。

Q 九谷焼の活性化に向けて、市長の決意はどうか

地場産業九谷焼の振興に向け、行政として、思いきった力を注ぐ絶好のチャンスである。

九谷焼産地再生戦略会議の答申を受け、「人、もの、金」を最大限投資すべきでないか。

A 答申を真摯に受け止め、6月議会ですべての提案をする（市長）

ファンドや補助金の形態、融資制度の活用、3館の管理運営、学芸員の配置を含め、慎重に対処する。振興協議会は重要であり、経過・経緯を知った者の配置が最適と考えている。



©円谷プロ

▲アイデア溢れる取組みが九谷焼の活性化に（九谷焼ウルトラマンシリーズ）

日本共産党

山口 慧子 議員



能美市子育て応援宣言で一層の子育て支援を進めよ

Q 子どもの医療費窓口無料化と病児保育の実施を求める

能美市は医療や保育等幅広く子育て支援を進めている。市内外に支援の姿勢を示し、一層の支援を進めていただきたい。

市長選での公約は、医療費窓口無料化をつたったものと思うがどうか。病児保育もずっと要望していた。時期や保護者の負担等具体的な運営について問う。

A 応援宣言はアピール度や効果を検証して考慮する（市長）

子育て支援課を設置し、ソフトハード両面で子育て支援している。医療費窓口無料化は前向きに努力していきたい。病児保育は、デイサービスセンター白寿を内部改装して行う。25年度中の前倒しを考えている。費用や負担のあり方は今後具体的に検討していく。

Q 辰口中学校講堂の建設を前倒しせよ

以前の私の質問に建設に努力すると答弁され、市の財政推計にも反映され、昨年地質調査がされた。財源としては、国は緊急経済対策として、24年度の補正、何にでも使える元金臨時交付金は、24年度・25年度と交付されることになっており、余裕が出てくる分を講堂建設に回せるのではないか。

A 当初の予定とおり進めていきたい（教育長）

事業計画のメニューのボリュームが非常に多く優先的に何を持つていくかという状況にある。地質調査自体は予定がなかったのを、是非この計画でお願いしたもの。



▲子育て支援策の更なる充実を



橋本 崇史 議員



JR寺井駅周辺活性化と能美市の生活保護の現状について

Q 能美市唯一の駅と駅周辺を観光も含めた形で有効活用してはどうか

小松市や白山市と比べて能美市は駅や駅周辺を有効に利用できていない。北陸新幹線金沢開業を目前に控え、JR寺井駅や駅周辺を今まで以上に活気のあるものにするのが重要である。ご当地グルメやイベントができる施設を駅周辺につくってはどうか。

A 建設予定の交流広場を駅周辺の活性化に繋げたい(副市長)

地域と一体となったまちづくりの機運を高めるソフト事業を展開する。具体的にはまちなかイベントや沿道緑化の社会実験を今後も行いながら建設予定の交流広場を駅周辺の活性化に繋げたい。またイベントの際には今まで以上に広範囲なPRをしていきたい。

Q 能美市の生活保護者に対する取り組みを問う

能美市の生活保護受給者は年々増加傾向であり、平成25年度は110人、予算額は1億8037万円である。今後も社会情勢を考え、増加の一途を辿ると考えられるが、市として具体的な対策はしているのか。

A 実態を把握し、就労可能な方には就労支援を(健康福祉部長)

今後も支援の必要な方を適正に保護するという考えに基づき、自立に向けた施策の一つとして生活保護を捉えていく。

社会福祉士資格を有するケースワーカーの家庭訪問で実態を把握し、就労可能な方には積極的な就労支援を行っている。また医療費削減策としては重複受診や過剰投与などの点検を行っている。



▲JR寺井駅周辺の活性化策の展開を

総務常任委員会

委員長：嵐 昭夫 副委員長：南山 修一
委員：杉田 隆一、金森 修栄、橋本 崇史

委員会における質疑応答

Q 特別職の給与は年間でどれほど減額されるか。

A 大変厳しい財政状況下での市長の自主的な判断により、3名で合計700万円余りの減額となる。

Q 若者夫婦世帯のみならず幅広い世帯の定住化促進のために、年齢制限や所得制限の見直しを検討することが必要である。

A メリット及びデメリットを検証し、制度の改正に向けて前向きに取り組んでいく。

Q ウルトナなまちづくり事業は、もっと予算を使っても観光客の誘致に努めて欲しい。

A 北陸新幹線金沢開業を見据えた中で、今後も新たな施策の展開を行っていく。

Q スポーツ合宿の受入れについて、積極的に大学へのPRを行っているか。

A 石川県を通じ、大学の生協へ周知を図っている。

Q 報道等で懸念されている、退職金減額による、職員の早期退職希望者は、市でもでているか。

A 能美市の職員が加入している県市町村職員退職手当組合では、年度途中での給与減額改正は行われないため、市での駆け込み退職者はいない。

Q 南加賀地区滞納整理機構に能美市が参加することの意義は何か。

A 県や他市町の職員と協力し、適正な税收確保に努めることである。



▲幅広い世代の定住化促進を図り、市勢進展を

産業経済常任委員会

委員長：北野 哲 副委員長：北村 國博
委員：明福 憲一、山口 慧子、倉元 正順
居村 清二

委員会における質疑応答

- Q** 国の緊急経済対策の補助金で行う事業について、事業年度を前倒して行う事業の選定方法はどのようなものか。
- A** 基本的には地元からの要望があるものを優先的に選定している。
- Q** ジョブカフェ石川加賀サテライトの運営補助について、小松市と加賀市との3市合同で行うことも良いが、市内企業にどれだけ雇用してもらえるかが大切であり、単独で行うことや市内の学生や企業にとってはメリットのあるものにして欲しい。
- A** ジョブカフェの就職支援事業には、多くの企業と求職者の参加があることから、能美市もその機会を捉え、市内企業のPRと若年者の雇用推進の場として活用しているが、今後は時期を見て単独で行えるかどうかあわせて検討していきたい。

- Q** 根上地区工業用水の超過料金の改定に対する企業側の反応はどのようなものであるか。

- A** 平成18年度から企業側と議論してきた中で、理解していただくに至った。

- Q** 除雪業者の選定について、除雪機械を所有していると思われる市内の業者に通知をしてから業者を選択したほうが、除雪機械の有効活用とリース代金の軽減に繋がるのではないか。

- A** 除雪業者が機械の車検と任意保険に加入していることが条件であるが、情報の取得に努めたい。



▲合同面接会による就職支援

教育福祉常任委員会

委員長：米田 敏勝 副委員長：青山 利明
委員：荒田 正信、井出 善昭、近藤 啓子
田中策次郎

委員会における質疑応答

- Q** 子ども発達支援センター運営事業の具体的な取り組みは何か。
- A** 県に勤務していた方を専門員として配置し、電話相談や保育園への訪問など小集団指導を行い、また保育士などに対する指導やアドバイスなどについて研修を行うなどスキルアップを図り今まで以上に早期発見早期対応に繋げて行く事業である。
- Q** 高齢者買い物支援事業について平成24年度の実績評価はどうだったのか。
- A** 見守りも含めた宅配での支援は生鮮食料品の宅配が難しいなど課題が見えてきたので、一旦廃止し金沢市などの事例を参考に新たに新事業として6月補正で対応したい。

- Q** ジェネリック医薬品差額通知について、平成24年度実施した効果はどうであったか。

- A** 1月の切替率で33.2%、2月の切替率で31.2%、

この2か月分だけで年に換算すると700万円程度の効果が見込まれる。

- Q** 白寿のデイサービス事業部門が廃止される見込みと聞いたが、どのような状況であるか。

- A** 発足当時は公的施設が在宅介護の推進役を担ったが、現在近隣民間施設の稼働率が6割程度と低く公の事業を民間に移行する状況になってきている。



▲屋上への避難階段が整備された粟生保育園



山口 慧子 議員（日本共産党）

反対

公共事業は優先順位を決め選択して進め、福祉の充実や負担の軽減等市民サービスにつながる施策をせよ

議案第13号道路認定、廃止及び変更について。
議案第14号平成25年度能美市一般会計予算について。

平成25年度予算は骨格予算というが、昨年の当初予算と比較して5億円少ないだけの大型予算となっている。普通建設事業費は51億6,700万円にもなっているのに財政が厳しいからと市民に我慢を強いている。消耗品等必要な一般行政経費を14.4%も削減し、市民サービス関係の予算も目的を達したとの理由で、幾つか事業を廃止している。予算の削減が目的ならもってのほかだ。

南加賀滞納整理機構は、滞納分の一括納税を求められ、できないと即差押さえる等非情な事までするところで、参加すべきではない。

市長車は高額すぎる。財源の地域活性化債は市民の為に使うべき。能美インターチェンジ、横断道路は必要性の低い事業であることや財政が厳しいと言いながら多額の予算を使うことに市民の批判の声があり、凍結すべき。

居村 清二 議員（能政会）

賛成

市民の安全の確保を最優先にした、市政の執行を願う

昨年末に発足した安倍政権は最大の課題を経済再生とし、大胆な金融緩和、機動的な財政出動、民間投資を喚起する成長戦略の『三本の矢』で強い経済を取り戻すとした。

酒井市長にとって3期目のスタートとなった3月定例会であり、『住んでよかった能美市』として、均衡ある市勢発展を願い、安心・安全なまち

づくりのために邁進されるよう期待したい。

今回上程された議案第2号から31号及び1件の報告については、定住人口の増加策の展開、里山保全や循環型社会構築への事業、公共交通の充実に繋がるもの、また市民が健康で安心して暮らすことができるよう様々な施策が盛り込まれている。

平成25年度予算については、6月補正での本格予算の編成により、実質的な平成25年度当初予算となると考えられるが、国の補正予算との関連など今後の政治動向を見極めた市政の執行にあたられることを願い、上程された議案に賛成の意を表する。

～第2回定例会の日程が決まりました～

- ・6月 3日(月) 10:30～
議案上程、提案理由の説明
- ・6月12日(水) 10:00～
一般質問
- ・6月13日(木) 10:00～
一般質問、委員会付託
- ・6月21日(金) 11:00～
委員長報告、討論、採決

ぜひ傍聴にお越し下さい!
(市役所本庁舎3階議場)



環境対策特別委員会

委員長：北村 國博 副委員長：南山 修一
委員：米田 敏勝、嵐 昭夫、田中策次郎

○視 察 日 平成25年2月21日(木)～22日(金)

○視察先・目的

●石川県珠洲市、能登町

「バイオマスタウン構想、春蘭の里」

●富山県高岡市、富山市

「水力発電施設、エコタウン施設見学」

○石川県珠洲市、能登町

珠洲市では、様々な地域課題を解決するための指針としてバイオマスタウン構想を策定し、自然との共生をうたった環境政策を展開している。課題の一つが食品残渣の活用であり、市民の協力が必要なためまずはモデル地区の設定を検討しているが難航しているため、対応として食生活改善協議会等の活動の中で生じる生ごみを分別し、活用している。

春蘭の里は、任意団体が運営する集落の集合体であり、里山と人との関係を感じられる里山ミュージアムとして地域づくりを行っている。過疎でもびくともしない春蘭の里は、修学旅行の問合せが増えており、グリーンツーリズム型観光地域として農村の再生を図っている。

○富山県高岡市、富山市

視察した下水処理施設では、放流水の落差を用いた小水力発電設備を導入していた。維持費がからないことや下水処理水を活用するため水利権が不要であることが特徴である。また発電により温室効果ガスが発生しないため、環境に配慮した下水道事業であることを広くアピールしていた。

また、富山BDF(株)及び富山グリーンフードリサイクル(株)を視察した。それぞれの施設では、二酸化炭素排出量の削減や食品廃棄物の有効利用に取り組んでおり、積極的な環境問題へのアプローチによるまちづくりの一端を垣間見ることができた。



▲春蘭の里で説明を受ける

行政視察受け入れ

丹波市議会会派行政視察研修について

会派：市民クラブ、新風会 計6名

○視 察 日 平成25年1月21日(月)

○研 修 事 項

「定住促進助成制度」

「子育て支援策」

○対 応 課

観光交流課、子育て支援課

1月21日(月)、兵庫県丹波市議会の会派行政視察研修で6名の市議会議員の方々が来庁し、能美市の定住促進制度と子育て支援策についての研修が行われた。

能美市の担当課から、各事業の概要と施策の説明のあと質疑応答が始まった。

質疑として、定住促進助成制度では他市でも同様な施策が図られているが、差別化した点や特筆する点はあるのかといったことや、若者をターゲットとした場合の具体的なPR方法はどのようなものかとの意見があった。

また子育て支援では、持続可能な財政的裏づけや今後新たな支援の計画はあるのかといった意見があり、活発な質疑があがった。

能美市議会では他市町からの行政視察を受け入れるとともに、常任委員会や会派での視察を積極的に行うことで、先進地事例を学び、市政に反映している。



▲行政視察の様子



議会活性化への取り組みについて

市民の代表者として説明責任の果たせる議会とは

2月20日、愛知県豊田市議会から議長の梅村憲夫氏をお迎えし、『議会活性化への道のり』と題し、研修会が開催された。議会基本条例の制定に向け努力された実績や、活性化の最前線で活動された先進事例を基に、具体的な取り組みについての講演を受けた。

二代表制は議会が執行部と対立していかなければならないというのではなく、議会と執行部双方が切磋琢磨して互いに尊重しながら議論を進め、基本条例の制定にあたっては、議員自らが積極的に勉強会を開催するなど知識の習得に努め、全議員が参画して作り上げた条例であったと熱口調で語られた。

議員からは活発な質問や意見があがり、議会基本条例の制定に至る過程や制定後の取り組みなど、耳を傾けていた。



▲議会のありさまについて活発な意見が交わされた
(講師：梅村憲夫氏)

●議会基本条例とは

地方自治に基づく議会運営について、その基本原則を定めた条例で、議会の最高規範でもある。

分権改革により地方自治体の権限が拡大するとともに、議会が果たす役割も大きくなっており、積極的な議会改革が求められている。

現在、全国800あまりの市区議会の中で、約20%の議会が基本条例を制定しており、全国各地で制定への動きが高まっている。

一般質問に一問一答式を導入

今定例会から、一般質問に一問一答式が導入された。

初の試みであったため、3月18日、19日の両日とも、議員と執行部の双方が緊張感に包まれた中で議論が交わされた。議場では次々と質問と答弁がやりとりされ、熱気と臨場感に満ちた一般質問は、終始白熱した展開であった。

実際に傍聴を終えた市民からは、わかりやすかったとの意見のほか、もう少し工夫してもらいたいとの意見や、質問を行う議員の顔が傍聴席から見えないため、議場にモニターを設置して欲しいなど、より開かれた議会になることを望む意見も寄せられた。

議員間で今回の一問一答式の課題点などを検証し、執行部の意見も取り入れながら、より議会が市民の方々にわかりやすく身近なものになるよう、議会運営に取り組んで行きたい。



▲新たに設けられた質問席で行われた一般質問(写真提供：テレビ小松)

こんな活動しています

総務…総務常任委員会	全協…議会全員協議会	地域…地域活性化特別委員会
産経…産業経済常任委員会	基地…基地対策特別委員会	環境…環境対策特別委員会
教福…教育福祉常任委員会	広報…広報特別委員会	活性化…議会活性化特別委員会
議運…議会運営委員会	行革…行政改革特別委員会	能美IC…能美インターチェンジ特別委員会

1月

- 11日 広報(35号編集作業)
- 17日 議運(第1回定例会会期日程)
広報(35号編集作業)
- 21日 視察受入(定住促進助成制度、子育て支援:兵庫県丹波市)
- 28日 教福(各課からの報告事項)
南加賀市議会議長会定期総会(加賀市:正副議長)

2月

- 1日 のみだより35号発行
- 3日 能美市長選挙及び能美市議会議員補欠選挙
- 4日 議運(第1回臨時議会日程)
- 7日～8日
全国市議会議長会基地協議会第76回総会
(東京都:議長)
- 11日 北陸新幹線(仮称)白山駅建設期成同盟会設立総会
(白山市:議長、関係議員)
- 12日～13日
石川県市議会議長会定期総会(金沢市:正副議長)
- 15日 議運(第1回臨時会議事日程)
全協(一問一答)
本会議(質疑、討論、採決)
- 19日 総務(各課からの報告)
南加賀広域圏事務組合定例会
(小松市:議長、関係議員)
- 20日 議員研修会(議会活性化への道のり・豊田市議長)
産経(各課からの報告)
- 21日～22日
環境行政視察(詳細はP14上段)
- 27日 教福(各課からの報告事項)
議運(第1回定例会会期日程)
全協(第1回定例会会期日程)
- 28日 予算説明会(平成25年度当初予算)
行革(経過報告)

3月

- 1日 予算説明会(平成25年度当初予算)
- 5日 活性化(政務活動費運用指針案)
- 6日 議運(議事日程)
全協(議事日程)
本会議(開会、議案上程、提案理由)
- 11日 議運(代表・一般質問通告)
- 14日 活性化(議会基本条例)
行革(現地視察:類似公共施設)
- 18日 議運(議事日程)
全協(議事日程)
本会議(代表・一般質問)
- 19日 本会議(一般質問、委員会付託)
- 21日 教福(付託案件)
- 22日 産経(〃)
- 25日 総務(〃)
- 26日 議運(議会議案)
各常任委員会
- 27日 議運(議事日程)
全協(議事日程)
本会議(議会議案、委員長報告、討論、採決、閉会)
- 28日 一部事務組合議会(議長、他関係議員)
湯寿会理事会・評議員会(教福正副委員長)
石川県後期高齢者医療広域連合議会(議長)

ご意見・ご感想

『のみだより』へのご意見・ご感想や能美市議会へのご意見などございましたら、下記の宛先までお寄せください。

【宛先・お問合せ】

能美市議会事務局

〒923-1297 能美市来丸町1110番地
TEL: (0761) 58-2240
FAX: (0761) 58-2295
E-mail: gikai@city.nomi.lg.jp

編集後記

元職1名と新人2名が加わり平成25年度能美市の骨格予算が審議された3月議会定例会。本会議前に2日間にわたり全部門の予算説明と後日常任委員会で専門部署ごとに審議され議会に臨む。

新人の私は、自分から各部署に足を運び学習しなければ各部署が経験を活かし提案する予算案の真意が分からず、質問も出来ないと感じた。

市長趣旨説明の「住んで良かったと思うまちづく

り」この言葉が私も好きである。一人でも多くの市民が幸せを感じる能美市にしたい。

「市民に分かりやすい議会を」と、この3月議会から取り入れられた一問一答式での一般質問。市政を身近に感じてもらい、幅広い予算を審議し、市民と共に住み良い能美市をつくりたい。

(田中 策次郎)

広報特別委員会 委員長: 南山 修一 副委員長: 北野 哲 委員: 青山 利明、金森 修栄、北村 國博、田中 策次郎、橋本 崇史